

平成28年度VUV・SX高輝度光源利用者懇談会 総会議事録

日時:平成 29 年 1 月 7 日(土)11:00~12:00

会場:神戸芸術センター 会議室 504(5階)

議事

0. 参加者 38名、委任状 43通あり、総会は成立していることが確認された。

1.議長に木村真一教授(大阪大)を選出した。

2.木村昭夫会長(広島大)より、平成 28 年度の活動報告(平成 27 年度総会以降)が行われた。

・会員動向

会員:446 名 → 446 名

賛助会員:9 社 → 8 社

・ISSP ワークショップ開催(平成 28 年 3 月 1 日(火))「SPring-8 BL07LSU の現状 - X 線分光と回折の協奏へ-」

・次回 ISSP ワークショップ開催予定(平成 29 年 3 月 8 日(水))「SPring-8 BL07LSU が照らした物質機能の起源」

3.小嗣真人編集委員長(東京理科大)より、ニュースレター発行作業の現状について報告が行われた。

・紙媒体から Web 版へ移行作業中

・年度内に発行予定

4.雨宮健太会計委員長(高エネ研)より、平成 28 年度の会計報告(中間報告)が行われた。

5.有馬孝尚東京大学放射光分野融合国際卓越拠点機構長(東京大)より、放射光連携研究機構からの改組および現状についての報告が行われた。

6.松田巖物性研究所播磨分室准教授より、アンジュレータビームラインの現状および SPring-8 共同利用状況が報告された。

・偏光変調測定の結果の紹介

・共同利用実験課題採択状況・論文発表状況

・物性研究所短期研究会「新世代光源で切り拓く物質科学と生命科学の融合領域」
(平成 29 年 3 月 7 日(火))および前記の ISSP ワークショップ開催予定

8. 虻川匡司准教授(東北大)より、東北放射光施設(SLiT-J)計画の準備状況について説明が行われた。

9. 原田慈久物性研究所播磨分室准教授より、SLiT-J のエンドステーションとして提案予定の「超高分解能 2 次元角度分解軟 X 線発光分光ステーション」について説明が行われた。

10. 近藤猛物性研究所准教授より、SLiT-J のエンドステーションとして提案予定の「ナノ・スピン ARPES」について説明が行われた。

11. 全体討論

・前記の2つの SLiT-J エンドステーションの提案について、参加者の拍手による承認が行われた。

・SLiT-J エンドステーションの提案内容について、特に APRES ステーションについて、VUV 領域だけでなく軟 X 線領域の要望、および、大気圧雰囲気下の利用など、様々議論が行われた。

・他のエンドステーションとの連携についても議論を行った。